



2025年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年1月31日

上場会社名 株式会社アズーム 上場取引所 東
コード番号 3496 URL <https://azoom.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菅田洋司
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 馬場涼平 TEL 03-5365-1235
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年9月期第1四半期の連結業績（2024年10月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期第1四半期	2,993	25.4	503	32.0	501	31.6	343	32.2
2024年9月期第1四半期	2,387	29.1	381	38.7	380	37.9	260	40.6

(注) 包括利益 2025年9月期第1四半期 345百万円 (35.0%) 2024年9月期第1四半期 255百万円 (42.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期第1四半期	58.17	57.40
2024年9月期第1四半期	44.08	43.43

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年9月期第1四半期	5,430	3,947	72.3
2024年9月期	5,554	3,749	67.1

(参考) 自己資本 2025年9月期第1四半期 3,927百万円 2024年9月期 3,727百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2025年9月期	—	—	—	—	—
2025年9月期（予想）	—	0.00	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年9月期の連結業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	5,900	20.0	1,090	29.7	1,080	28.9	700	19.7	118.47
通期	12,500	18.6	2,500	36.7	2,490	36.3	1,619	25.7	274.01

（注） 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年9月期1Q	6,026,800株	2024年9月期	6,026,800株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2025年9月期1Q	118,276株	2024年9月期	118,276株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2025年9月期1Q	5,908,524株	2024年9月期1Q	5,899,585株
------------	------------	------------	------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、一部に足跡が残るものの景気が持ち直していくことが期待されております。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっており、物価上昇、供給面での制約、アメリカの今後の政策動向、中東をめぐる情勢、金融資本市場の変動等が当社グループに与える影響は不透明であり、今後も引き続き注視し、適切な対応を講じてまいります。

当社グループの経営環境としましては、遊休資産活用事業に主として関連する駐車場業界において、インターネットを活用した月極駐車場の紹介依頼需要は増加しており、オフィスビルや分譲マンション等における駐車場空き区画の収益化に対する需要も依然として拡大しております。さらに、従来は店舗型の不動産仲介業者にて月極駐車場を探していたユーザーが、当社が運営するポータルサイトを通じてインターネット経由で流入するケースがより増えてきております。また、テクノロジーの進化により、駐車場の管理・運営方法も変わってきており、駐車場業務のデジタル化が進んでおります。

ビジュアルライゼーション事業においては、設備投資の持ち直しの動きがみられることから、当社グループが提供する不動産画像に対する需要は回復してきております。さらに非対面での営業ツールとして、VR技術を用いたバーチャルショップの開発・制作を行い、事業規模を拡大しております。

このような経営環境のもと将来的な収益力の強化を目的として、引き続き既存社員の育成や新規の営業人員の獲得に努め、新規案件の獲得のための積極的なアプローチを行えるような営業体制の強化に注力するとともに、ベトナム子会社（AZOOM VIETNAM INC. 及びCGWORKS VIETNAM INC.）でのシステム開発・グラフィックデータ制作の体制を強化するための投資やリモート環境等の制約に関わらず営業活動を継続できるようIT面での新たな技術の開発を引き続き行ってまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,993,691千円（前年同期比25.4%増）、営業利益は503,737千円（前年同期比32.0%増）、経常利益は501,283千円（前年同期比31.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は343,709千円（前年同期比32.2%増）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

① 遊休資産活用事業

遊休資産活用事業セグメントは、当社がインターネット上で運営する月極駐車場のポータルサイト「CarParking」（以下、「カーパーキング」といいます）を経由して、駐車場の紹介を行う「月極駐車場紹介サービス」と、駐車場オーナーから空き駐車場を当社がマスターリース（一括借り上げ）し、月極駐車場としてユーザーにサブリース（貸し付け）を行う「月極駐車場サブリースサービス」を中心として事業を行っております。当第1四半期連結累計期間においては、カーパーキングを通じたインターネット経由でのユーザーの流入増加を背景に、引き続き既存社員の営業力強化やITを活用した業務効率化の推進に努め、マスターリース台数及びサブリース台数のいずれも堅調に推移し、当第1四半期連結累計期間における駐車場問い合わせ件数は79,295件となり、当第1四半期連結会計期間末におけるマスターリース台数（受託台数）は30,470台、サブリース台数（稼働台数）は28,189台となりました。あわせて、株式会社鉄壁が提供する月極駐車場特化型の賃料保証サービスの契約件数も堅調に推移しております。また、顧客による貸し会議室やジム、スタジオ等のレンタルスペースの運営をサポートするWEB予約システム「スマート空間予約」においては、システムの新規導入室数が増加しており、カスタマイズ対応案件については、様々な業種の企業へ導入しております。加えて、株式会社ダイバースは人材紹介の事業を行っております。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,946,980千円（前年同期比26.3%増）、セグメント利益は515,227千円（前年同期比35.9%増）となりました。

② ビジュアライゼーション事業

ビジュアライゼーション事業セグメントは、不動産の可能性をより視覚的に伝えることを可能にするため、3DCG技術等の専門的なスキルを活用し、建物や空間の利用方法及び完成イメージをグラフィックデータとして制作し、販売するとともに、VR技術を用いて顧客の要望に応じた空間デザインのサービスを提供しております。当第1四半期連結累計期間においては、グラフィックデータ作成の発注元であるディスプレイ業者が、インバウンド需要の増加などの影響により、集客施設への設備投資に持ち直しの動きがみられることから、市場環境は堅調に推移しておりますが、VR案件の受注は減少いたしました。また、2024年3月にリリースした生成AIによるレンダリングサービス「MyRenderer（マイレンダラー）」の契約件数増加に向けたプロモーション活動に注力しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は46,711千円（前年同期比13.5%減）、セグメント損失は11,489千円（前年同期はセグメント利益2,515千円）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は4,198,128千円となり前連結会計年度末に比べて169,885千円減少しております。その主な要因は、税金の納付及び配当金の支払等により現金及び預金が216,139千円減少した一方で、月極駐車場の受託台数の増加に伴い前払費用が38,064千円増加したことによるものであります。固定資産は1,231,893千円となり、前連結会計年度末に比べて45,863千円増加となっております。以上の結果、総資産は前連結会計年度末に比べて124,021千円減少し、5,430,022千円となっております。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は1,079,468千円となり、前連結会計年度末に比べて322,754千円減少しております。その主な要因は、税金の納付により未払法人税等が258,322千円減少したことによるものであります。固定負債は403,306千円となり、前連結会計年度末に比べて779千円増加しました。以上の結果、負債合計は前連結会計年度末と比べて321,974千円減少し、1,482,774千円となっております。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は3,947,247千円となり、前連結会計年度末に比べて197,952千円増加しております。その主な要因は、配当金の支払により利益剰余金が147,713千円減少した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益を343,709千円計上したことにより利益剰余金が同額増加したことによるものであり、自己資本比率は72.3%（前連結会計年度末は67.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点の連結業績予想につきましては、2024年11月13日の「2024年9月期決算短信」で公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,071,529	2,855,389
売掛金	147,686	111,336
仕掛品	2,550	10,772
販売用不動産	395,560	394,222
前払費用	708,577	746,642
その他	56,224	91,679
貸倒引当金	△14,115	△11,913
流動資産合計	4,368,014	4,198,128
固定資産		
有形固定資産	115,640	120,238
無形固定資産		
のれん	39,354	37,386
その他	383,185	439,598
無形固定資産合計	422,539	476,985
投資その他の資産		
差入保証金	276,507	290,435
その他	393,915	364,777
貸倒引当金	△22,573	△20,543
投資その他の資産合計	647,849	634,669
固定資産合計	1,186,029	1,231,893
資産合計	5,554,044	5,430,022
負債の部		
流動負債		
未払金	116,320	131,520
未払法人税等	379,933	121,611
前受収益	364,577	376,673
契約負債	118,017	129,206
賞与引当金	68,936	39,213
1年内返済予定の長期借入金	38,116	37,838
その他	316,320	243,405
流動負債合計	1,402,222	1,079,468
固定負債		
長期借入金	72,416	64,633
預り保証金	260,273	268,404
退職給付に係る負債	17,100	17,400
資産除去債務	52,737	52,869
固定負債合計	402,526	403,306
負債合計	1,804,749	1,482,774
純資産の部		
株主資本		
資本金	66,543	66,543
資本剰余金	792,259	792,259
利益剰余金	3,044,095	3,240,092
自己株式	△180,516	△180,516
株主資本合計	3,722,382	3,918,378
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	5,181	8,624
その他の包括利益累計額合計	5,181	8,624
新株予約権	19,523	19,833
非支配株主持分	2,208	409
純資産合計	3,749,295	3,947,247
負債純資産合計	5,554,044	5,430,022

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
売上高	2,387,251	2,993,691
売上原価	1,409,874	1,771,889
売上総利益	977,377	1,221,801
販売費及び一般管理費	595,808	718,064
営業利益	381,568	503,737
営業外収益		
その他	335	66
営業外収益合計	335	66
営業外費用		
支払利息	227	233
為替差損	650	2,231
その他	70	54
営業外費用合計	947	2,519
経常利益	380,956	501,283
税金等調整前四半期純利益	380,956	501,283
法人税、住民税及び事業税	99,613	121,815
法人税等調整額	21,457	37,572
法人税等合計	121,070	159,387
四半期純利益	259,885	341,896
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△160	△1,813
親会社株主に帰属する四半期純利益	260,046	343,709

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	259,885	341,896
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△4,012	3,443
その他の包括利益合計	△4,012	3,443
四半期包括利益	255,873	345,340
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	256,034	347,153
非支配株主に係る四半期包括利益	△160	△1,813

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

当社の四半期連結財務諸表は、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略を適用）に準拠して作成しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2023年10月1日 至 2023年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	遊休資産活用事業	ビジュアライゼーション事業	
売上高			
外部顧客への売上高	2,333,275	53,975	2,387,251
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	2,333,275	53,975	2,387,251
セグメント利益	379,053	2,515	381,568

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2024年10月1日 至 2024年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	遊休資産活用事業	ビジュアライゼーション事業	
売上高			
外部顧客への売上高	2,946,980	46,711	2,993,691
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	2,946,980	46,711	2,993,691
セグメント利益又は損失(△)	515,227	△11,489	503,737

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、当第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	26,465 千円	38,296 千円
のれんの償却額	1,967	1,967

(重要な後発事象)

該当事項はありません。